大切な未来のために

☆学校安全調査の御案内☆

いじめ、キレる子ども、体罰、発達障害など、子どもと学校教育を巡る状況は複雑になる一方です。そうした問題に対して、様々な意見、提言がありますが、どれが正解なのか、誰にも決断ができない状況が続いています。

こうした混迷のときだからこそ、現状を正しく把握し分析することから始めなければなりません。

子どもの発達科学研究所が提供する各種調査は、これまでの先行研究の成果を生かしたものであり、データ収集に留まりません。疫学統計学の専門家による科学的な分析結果から、今後の対策を立てる上で重要な指針を出すことができます。データと科学的解析の結果があれば、そこから出された対策は説得力を持ち、大きな成果を上げることでしょう。

☆問い合わせ☆

E-mail:　smilehamamatsu@gmail.com

ホームページ　http://www.kodomolove.org/

本部：

〒530-0001　**大阪市北区梅田**1-1-3-267

TEL:06-6341-5545　　FAX:06-6347-1525

浜松オフィス：

〒430-0929　**浜松市中区中央**1-3-6-201

TEL/FAX:053-456-0575

一般社団法人

子どもの発達科学研究所

大阪大学大学院　大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学　連合小児発達学研究科

目　的：

いじめの有無、いじめがあった場合には、その内容、頻度、加害者、場所、そのときの子どもの対応方法などを調査します。また校内の危険な場所（いじめや事故が起こりやすい）を特定すると共に、校内の雰囲気を評価します。

方　法：

児童生徒、保護者、職員を対象とした質問紙です。児童生徒は授業時間に行います。保護者は家庭で回答します。やり方にもよりますが、15分～30程度掛かります。

分析結果からわかること：

①いじめの実態が量と質の両面から評価が可能です。また校内のどの場所でいじめが起きやすいのか、どのような背景を持つ子どもがいじめの被害者になりやすいのかがわかります。そのことにより、**いじめを予防するための対策**（どの場所、どの場面に注意が必要か。児童生徒にどのような力を身に付けさせることが必要か、など）がわかります。

②学校全体が、いじめを予防しやすい状態にあるのか、Ａ集団の状態、Ｂルール設定の状態、Ｃ教師の対応の３点から評価します。

②**継続的に調査**を行うことによって、学校の取り組みが成果を上げているのかがわかります。

その他：

・個人が特定できない形での調査です。

・同時に体罰の有無を含めて子どもと教員の関係を評価する「子どもと教員の関係性調査（＋200円）」、学力や不登校などに関係する子どものうつを評価する「子どもの精神状況の調査（+100円）」を行うことができます。

・用紙セット（子ども・保護者）と解析料金で、１人300円です。

学校安全調査とは